

## 平成 28 年 3 月期 第 1 四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成 27 年 8 月 11 日

上場会社名 中央化学株式会社 上場取引所 東  
 コード番号 7895 URL <http://www.chuo-kagaku.co.jp>  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 社長執行役員 (氏名) 水野 和也  
 問合せ先責任者 (役職名) 管理本部 管理部長 (氏名) 遠藤 勇一 TEL 048-540-2820  
 四半期報告書提出予定日 平成 27 年 8 月 12 日 配当支払開始予定日 —  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無  
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

### 1. 平成 28 年 3 月期第 1 四半期の連結業績 (平成 27 年 4 月 1 日～平成 27 年 6 月 30 日)

#### (1) 連結経営成績 (累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
28 年 3 月期第 1 四半期	14,986	3.6	171	—	209	—	163	—
27 年 3 月期第 1 四半期	14,471	—	△653	—	△679	—	△724	—

(注) 包括利益 28 年 3 月期第 1 四半期 267 百万円 (—%) 27 年 3 月期第 1 四半期 △751 百万円 (—%)

	1 株当たり四半期純利益	潜在株式調整後 1 株当たり四半期純利益
28 年 3 月期第 1 四半期	円 銭 8.14	円 銭 —
27 年 3 月期第 1 四半期	△35.96	—

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
28 年 3 月期第 1 四半期	百万円 42,159	百万円 8,336	% 19.8
27 年 3 月期	42,708	8,068	18.9

(参考) 自己資本 28 年 3 月期第 1 四半期 8,336 百万円 27 年 3 月期 8,068 百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第 1 四半期末	第 2 四半期末	第 3 四半期末	期末	合計
27 年 3 月期	円 銭 —	円 銭 0 00	円 銭 —	円 銭 0 00	円 銭 0 00
28 年 3 月期	—	—	—	—	—
28 年 3 月期(予想)	—	0 00	—	0 00	0 00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

### 3. 平成 28 年 3 月期の連結業績予想 (平成 27 年 4 月 1 日～平成 28 年 3 月 31 日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1 株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第 2 四半期(累計)	31,300	3.2	100	—	0	—	0	—	0.00
通期	63,500	4.1	600	—	600	—	350	—	17.37

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動  
(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無  
新規 一社 (社名) 、除外 一社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
  - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
  - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
  - ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	28年3月期1Q	21,040,000株	27年3月期	21,040,000株
② 期末自己株式数	28年3月期1Q	891,062株	27年3月期	891,062株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	28年3月期1Q	20,148,938株	27年3月期1Q	20,148,987株

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外ではありますが、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了しております。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信(添付資料)3ページ「連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	3
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項 .....	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 .....	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 .....	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示 .....	3
3. 継続企業の前提に関する重要事象 .....	3
4. 四半期連結財務諸表 .....	4
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	6
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間 .....	6
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間 .....	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書 .....	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 .....	9
(継続企業の前提に関する注記) .....	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	9
(セグメント情報等) .....	9

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

## (1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間における我が国経済は、好調な企業収益と低金利などを背景に設備投資が拡大、また、所得雇用環境の改善に加え、株式市場も堅調に推移するなど、国内景気は緩やかな回復基調が続いております。

一方、当食品包装容器業界と極めて関連性の深い一般消費財市場においては、円安の影響などによる食料品等の価格上昇により、食料品関連の売上が前年同期比プラスで推移しているものの、個人消費の持ち直しは依然として緩慢なペースに止まっております。

また、昨秋以降、需要の伸び悩みなどから下落基調で推移していた原油価格により2015年4～6月の原材料価格は下降しました。一方、その後の原油価格・為替の動向により7～9月の原材料価格は上昇に転じております。

このような環境下、国内では、平成27年2月に東京オフィスで開催した「Spring Fair 2015」にて展示・提案した「いろは・すみきり・うつわめし」などの弁当・丼シリーズ、「かわら・浪み唄」などの寿司容器シリーズ、「グルメハウス・デリデコ新型・デリモア」などのデリカシリーズなどの新製品の拡販に努めました。また、社内の改善活動についても継続して取り組んだ結果、増収増益となっております。

中国においては、住宅市場が調整局面に入り、設備投資の伸びが鈍化しているほか、人件費上昇や元高などを背景に輸出も減少するなど、景気動向に足踏み感が出てきているものの、実質GDP成長率は依然として7%程度を維持しております。

なかでも、飲食関連の市場は所得水準の向上を背景に、堅調に推移しており、安全・安心を求める消費者が増える中、当社グループ製品に対する市場の期待は一段と高まりつつあり、当社中国では斯かる市場環境を背景とした拡販と生産効率改善等により、安定した事業基盤が整いつつあります。

この結果、当第1四半期連結累計期間の業績は、売上が14,986百万円（前年同期比3.6%増）、営業利益171百万円（前年同期は653百万円の損失）、経常利益209百万円（同679百万円の損失）、親会社株主に帰属する四半期純利益は163百万円（同724百万円の損失）となりました。

## (2) 財政状態に関する説明

## ①資産、負債及び純資産の状況

## (資産)

資産は、現金及び預金の減少459百万円等により、前連結会計年度末と比べ549百万円減少し42,159百万円となりました。

## (負債)

負債は、短期借入金の減少200百万円や長期借入金の減少557百万円等により、前連結会計年度末に比べ817百万円減少し33,822百万円となりました。

## (純資産)

純資産は、親会社株主に帰属する四半期純利益163百万円等により、前連結会計年度末に比べ267百万円増加し8,336百万円となり、自己資本比率は19.8%となりました。

## ②キャッシュ・フローの状況

当第1四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物は、2,717百万円となり前連結会計年度末に比べ98百万円の減少となりました。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動によるキャッシュ・フローは、減価償却費713百万円、たな卸資産の減少278百万円があった一方、仕入債務の減少161百万円があり、897百万円(前年同期比780百万円の増)の収入となりました。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動によるキャッシュ・フローは、固定資産の取得186百万円等があり、247百万円(前年同期比134百万円の増)の支出となりました。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動によるキャッシュ・フローは、長期借入金の返済567百万円やリース債務の返済382百万円等があり、1,149百万円(前年同期比143百万円の増)の支出となりました。

## (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

業績予想につきましては、前回(平成27年5月13日公表「平成27年3月期 決算短信」)の業績予想から変更ありません。

## 2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

## (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

## (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

## (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計方針の変更

(企業結合に関する会計基準等の適用)

「企業結合に関する会計基準」(企業会計基準第21号 平成25年9月13日。以下「企業結合会計基準」という。)、 「連結財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準第22号 平成25年9月13日。以下「連結会計基準」という。)及び「事業分離等に関する会計基準」(企業会計基準第7号 平成25年9月13日。以下「事業分離等会計基準」という。)等を当第1四半期連結会計期間から適用し、支配が継続している場合の子会社に対する当社の持分変動による差額を資本剰余金として計上するとともに、取得関連費用を発生した連結会計年度の費用として計上する方法に変更しております。また、当第1四半期連結会計期間の期首以後実施される企業結合については、暫定的な会計処理の確定による取得原価の配分額の見直しを企業結合日の属する四半期連結会計期間の四半期連結財務諸表に反映させる方法に変更しております。加えて、四半期純利益等の表示の変更及び少数株主持分から非支配株主持分への表示の変更を行っております。当該表示の変更を反映させるため、前第1四半期連結累計期間及び前連結会計年度については、四半期連結財務諸表及び連結財務諸表の組替えを行っております。

企業結合会計基準等の適用については、企業結合会計基準第58-2項(4)、連結会計基準第44-5項(4)及び事業分離等会計基準第57-4項(4)に定める経過的な取扱いに従っており、当第1四半期連結会計期間の期首時点から将来にわたって適用しております。

これによる損益に与える影響はありません。

## 3. 継続企業の前提に関する重要事象等

当社は前連結会計年度の有価証券報告書の事業等のリスクにおいて「継続企業の前提に関する重要事象等」を記載しておりますが、前連結会計年度まで6会計年度連続で営業キャッシュフロープラスを計上していることや、当第1四半期累計期間においても営業キャッシュフロープラスおよび連結営業利益171百万円を計上し、通期においても、開発・受注・原料調達・製造・製品配送・管理に至るあらゆる工程での効率化を推進することで、連結営業利益の黒字を見込んでおりますので、継続企業の前提に関する重要な不確実性は存在しないと判断しております。

## 4. 四半期連結財務諸表

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成27年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成27年6月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	3,189	2,729
受取手形及び売掛金	9,484	9,702
商品及び製品	6,227	5,973
仕掛品	678	702
原材料及び貯蔵品	1,462	1,465
繰延税金資産	10	15
その他	1,982	1,882
貸倒引当金	△16	△21
流動資産合計	23,020	22,450
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	6,174	6,113
機械装置及び運搬具(純額)	2,901	2,811
土地	4,563	4,563
リース資産(純額)	4,069	4,118
建設仮勘定	180	240
その他(純額)	750	725
有形固定資産合計	18,639	18,572
無形固定資産		
リース資産	1	—
その他	485	497
無形固定資産合計	486	497
投資その他の資産		
投資有価証券	327	347
長期貸付金	216	219
破産更生債権等	47	39
繰延税金資産	72	79
その他	145	195
貸倒引当金	△246	△242
投資その他の資産合計	561	639
固定資産合計	19,688	19,709
資産合計	42,708	42,159

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成27年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成27年6月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	10,967	10,891
短期借入金	5,500	5,300
1年内返済予定の長期借入金	1,355	1,346
リース債務	1,493	1,487
未払金	2,354	2,417
未払法人税等	65	35
未払消費税等	493	254
賞与引当金	115	64
災害損失引当金	77	77
海外事業等再編引当金	32	32
資産除去債務	11	11
その他	646	899
流動負債合計	23,114	22,817
固定負債		
長期借入金	6,911	6,354
リース債務	2,842	2,899
役員退職慰労引当金	25	26
債務保証損失引当金	39	39
退職給付に係る負債	1,497	1,468
資産除去債務	7	7
その他	202	209
固定負債合計	11,525	11,005
負債合計	34,639	33,822
純資産の部		
株主資本		
資本金	6,212	6,212
資本剰余金	5,787	5,787
利益剰余金	△2,746	△2,582
自己株式	△1,169	△1,169
株主資本合計	8,084	8,248
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	39	51
繰延ヘッジ損益	9	8
為替換算調整勘定	957	1,016
退職給付に係る調整累計額	△1,022	△987
その他の包括利益累計額合計	△15	88
純資産合計	8,068	8,336
負債純資産合計	42,708	42,159

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書  
 (四半期連結損益計算書)  
 (第1四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年6月30日)
売上高	14,471	14,986
売上原価	11,980	11,598
売上総利益	2,490	3,388
販売費及び一般管理費	3,144	3,216
営業利益又は営業損失(△)	△653	171
営業外収益		
受取利息	7	4
受取配当金	3	3
受取保険金	57	1
為替差益	—	70
その他	47	46
営業外収益合計	115	125
営業外費用		
支払利息	60	58
売上割引	16	13
為替差損	43	—
その他	21	15
営業外費用合計	141	87
経常利益又は経常損失(△)	△679	209
特別利益		
固定資産売却益	0	—
投資有価証券売却益	—	4
特別利益合計	0	4
特別損失		
固定資産除売却損	4	0
投資有価証券売却損	0	—
災害損失	21	16
特別損失合計	25	17
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	△705	197
法人税、住民税及び事業税	18	38
法人税等調整額	0	△5
法人税等合計	18	33
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△724	163
親会社株主に帰属する四半期純利益又は親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	△724	163



(四半期連結包括利益計算書)

(第1四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 平成26年4月1日 至 平成26年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 平成27年4月1日 至 平成27年6月30日)
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△724	163
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	5	11
繰延ヘッジ損益	△5	△1
為替換算調整勘定	△26	59
退職給付に係る調整額	—	34
その他の包括利益合計	△27	104
四半期包括利益	△751	267
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△751	267

## (3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年6月30日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	△705	197
減価償却費	684	713
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△1	0
退職給付引当金の増減額(△は減少)	△13	—
退職給付に係る負債の増減額(△は減少)	—	5
役員退職慰労引当金の増減額(△は減少)	2	1
受取利息及び受取配当金	△10	△8
支払利息	60	58
為替差損益(△は益)	6	△14
投資有価証券売却及び評価損益(△は益)	0	△4
有形固定資産除却損	2	0
有形固定資産売却損益(△は益)	1	—
売上債権の増減額(△は増加)	352	△1
たな卸資産の増減額(△は増加)	△712	278
仕入債務の増減額(△は減少)	586	△161
未払消費税等の増減額(△は減少)	36	△241
その他	△69	184
小計	221	1,007
利息及び配当金の受取額	10	8
利息の支払額	△84	△56
法人税等の支払額	△30	△61
営業活動によるキャッシュ・フロー	117	897
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
固定資産の取得による支出	△113	△186
固定資産の売却による収入	0	—
定期預金の預入による支出	△6	△6
投資有価証券の取得による支出	△3	△3
投資有価証券の売却による収入	3	4
貸付金の回収による収入	2	—
破産更生債権等の回収による収入	1	—
その他	2	△55
投資活動によるキャッシュ・フロー	△112	△247
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
短期借入金の純増減額(△は減少)	—	△200
長期借入金の返済による支出	△645	△567
リース債務の返済による支出	△360	△382
自己株式の取得による支出	△0	—
財務活動によるキャッシュ・フロー	△1,005	△1,149
現金及び現金同等物に係る換算差額	△20	33
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△1,021	△465
現金及び現金同等物の期首残高	3,836	3,183
現金及び現金同等物の四半期末残高	2,815	2,717

## (4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

## 【セグメント情報】

## I 前第1四半期連結累計期間(自平成26年4月1日 至平成26年6月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			調整額 (注)1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)2
	日本	アジア	計		
売上高					
外部顧客への売上高	12,824	1,646	14,471	—	14,471
セグメント間の内部売上高 又は振替高	30	430	460	△460	—
計	12,854	2,077	14,932	△460	14,471
セグメント利益又は損失(△)	△549	28	△521	△132	△653

(注) 1. セグメント利益又は損失の調整額△132百万円は、セグメント間取引消去及び各報告セグメントに配分していない全社費用であります。

2. セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業損失と調整を行っております。

## II 当第1四半期連結累計期間(自平成27年4月1日 至平成27年6月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			調整額 (注)1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)2
	日本	アジア	計		
売上高					
外部顧客への売上高	13,012	1,974	14,986	—	14,986
セグメント間の内部売上高 又は振替高	23	392	416	△416	—
計	13,036	2,366	15,403	△416	14,986
セグメント利益	267	48	316	△144	171

(注) 1. セグメント利益の調整額△144百万円は、セグメント間取引消去及び各報告セグメントに配分していない全社費用であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。